

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツリテラシーV・組織論(Sports Literacy V・Sport organizational theory)		授業コード	E001601
担当教員名	竹田 隆行		科目ナンバリングコード	E30707
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解できる内容になっています。 <input type="checkbox"/>			
受講心得	スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたいです。			
教科書				
参考文献及び指定図書	スポーツ集団のマネジメント(ぎょうせい)、スポーツチームの知識創造(スキージャーナル)			
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツ経営学、地域とスポーツ			

授業の目的	<p>私たちは、日常生活の中で、多くの集団や組織にあるいは社会に所属し、かかわりを持ちながら生活をしています。今後、我が国の社会は平均寿命の伸びと少子化にともなう高齢化、週休二日制にともなう余暇化がますます進むと言われていきます。仕事以外に費やす時間が多くなります。そのような社会の中で、健康で充実した生きがいのある毎日の生活を送ることは、誰もが願うことです。今後、そのような社会でスポーツは、今まで以上に重要な位置づけになると思われます。</p> <p>現在、スポーツ活動の場は広がりつつあります。一人で行うスポーツもありますが、集団で行われることの方が多く見られます。集団で行われるスポーツには、必ず組織的な活動や役割分担があります。</p> <p>本講義では、草の根レベル、企業レベルについて事例をあげながら、スポーツ組織の活動や役割を理解します。試験に合格することだけでなく、修得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目標とします。</p>
授業の概要	スポーツ組織について学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：○第1回 組織について 組織とは何かを説明します。	課題・確認
第2週：○第2回 スポーツ組織について スポーツ組織の特徴を説明します。	課題・確認
第3週：○第3回 スポーツ組織のマネジメント スポーツ組織のマネジメントについて説明します。	課題・確認
第4週：○第4回 スポーツ組織のマネジメント スポーツ組織のマネジメントについて説明します。	課題・確認
第5週：○第5回 マネジメント・サイクル	

スポーツ組織のマネジメント・サイクルについて説明します。		課題・確認
第6週：○第6回 スポーツ組織の活動意欲1 メンバーの活動意欲は組織を活性化させます。活動意欲について説明します。		課題・確認
第7週：○第7回 スポーツ組織の活動意欲1 メンバーの活動意欲は組織を活性化させます。活動意欲について説明します。		課題・確認
第8週：○第8回 組織構成要因について 組織を構成する要因を説明します。		課題・確認
第9週：○第9回 組織構成要因について 組織を構成する要因を説明します。		課題・確認
第10週：○第10回 組織構成要因について 組織を構成する要因を説明します。		課題・確認
第11週：○第11回 リーダーの役割について リーダーの役割について説明します。		課題・確認
第12週：○第12回 意志決定について 意思決定について説明します。		課題・確認
第13週：○第13回 意志決定について 意思決定について説明します。		課題・確認
第14週：○第14回 スポーツ組織のマネジメントについて スポーツ組織のマネジメントについて説明します。		課題・確認
第15週：○第15回 スポーツ組織のマネジメントについて スポーツ組織のマネジメントについて説明します。		課題・確認
第16週：期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	これまで経験してきたスポーツ観にとらわれずに講義にのぞんで欲しい。
【知識・理解】	スポーツ組織の現状理解を理解する。

【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	講義で学んだことをスポーツ組織で活かせるアイデアを提案して欲しい。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点			
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	